

令和6年度日米共同統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

我が国防衛のための日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で17回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和6年10月23日(水)～11月1日(金)の間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

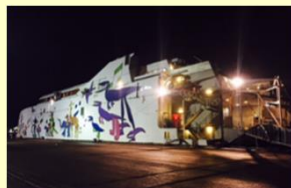
【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和6年度日米共同統合演習(実動演習)について

その他関連する訓練

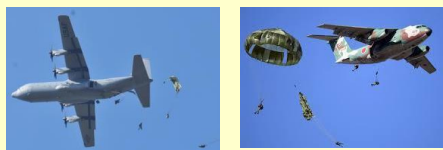
- 統合後方補給
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙状況監視に係る連携
- 統合電磁波作戦訓練



統合防空ミサイル防衛



空挺作戦



水陸両用作戦



統合対艦攻撃



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

令和6年度日米共同統合演習(実動演習)の 山口県における訓練について

同演習において実施する山口県内の訓練は、

- ① 陸上作戦(共同／協同基地等警備訓練)
見島分屯基地、米軍岩国基地、岩国航空基地
- ② 陸上作戦(滑走路復旧訓練)
米軍岩国基地
- ③ 統合後方補給・衛生訓練(海自艦艇への補給訓練)
米軍岩国基地
- ④ 航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練)
米軍岩国基地
- ⑤ 海上作戦(統合対艦攻撃訓練)
岩国航空基地

を予定しています。

訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

山口県内で実施を計画している訓練内容

①陸上作戦（共同／協同基地等警備訓練）

陸上自衛隊の部隊が米軍基地及び自衛隊基地等に展開し、各部隊による基地等警備訓練を実施します。なお、実弾については使用しません。

また、岩国基地及び見島分屯基地では日中に輸送ヘリ(CH-47)及び多用途ヘリ(UH-1)を使用した訓練を行います。

○ 期 間 : (岩国)10月26日(土)～11月1日(金)

(見島)10月26日(土)～10月29日(火)

○ 参加部隊: (岩国)陸上自衛隊: 第17普通科連隊約400名、その他の部隊約200名、車両約200両

米海兵隊 : 各基地所在部隊等

(見島)陸上自衛隊: 第8普通科連隊約100名、車両約5両

航空自衛隊: 基地所在部隊

訓練予定場所



【凡例】

● : 訓練場所(日米共同)

○ : 訓練場所(自衛隊のみ)

— : ヘリコプター飛行経路

--- : ヘリコプター飛行経路(予備)

訓練イメージ

基地警備



基地等	展開等する陸自部隊
見島分屯基地	第8普通科連隊 約100名 車両 約5両
岩国基地	第17普通科連隊他 約600名 車両約200両

山口県内で実施を計画している訓練内容

②陸上作戦（滑走路復旧訓練）

陸上自衛隊の部隊が米軍岩国基地に展開し、施設部隊による共同滑走路復旧訓練を実施します。なお、実弾・空包については使用しません。

【期 間】：10月26日(土)～11月1日(金)

【参加部隊】 陸上自衛隊：第13施設隊約20名、その他の部隊約20名、車両約10両

米 軍：第12海兵飛行大隊第171海兵航空支援師団中隊(約40名)

訓練予定場所



訓練イメージ

滑走路復旧訓練



※基地内の訓練場を使用

基地等	展開等する陸自部隊
岩国基地	第13施設隊他 約40名 車両 約10両

山口県内で実施を検討している訓練内容

③統合後方補給・衛生訓練(海自艦艇への補給訓練)

米軍岩国基地の岸壁に係留している海上自衛隊の護衛艦に対し、呉弾薬整備補給所(江田島市)から役務輸送した作戦資材を、米海兵隊の支援を受け搭載する訓練を実施します。

【期 間】 10月29日(火)

【参加部隊】 海上自衛隊: 呉弾薬整備補給所(約10名)、呉警備隊(えい船×2隻)、護衛艦「いなづま」
米 軍: 海兵隊第171師団支援中隊(約10名)、海軍隊員(約3名)(参加部隊調整中)



訓練イメージ



米海兵隊支援による護衛艦への作戦資材搭載

山口県内で実施を計画している訓練内容

④航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦攻撃訓練)

航空自衛隊の戦闘機部隊等が四国沖で実施される統合防空ミサイル防衛及び統合対艦攻撃訓練に参加し、対処・連携要領について演練します。その際、航空自衛隊の戦闘機部隊及び航空警戒管制部隊は、岩国航空基地への展開を計画しています。

【期 間】 令和6年10月15日(水)～11月8日(金)(土、日曜日を除く。(展開については予備日として土日を設定しております。))

【参加部隊】 海上自衛隊:基地所在部隊(細部人数調整中)

EP-3、OP-3(調整中)

航空自衛隊:北部航空方面隊、警戒航空団、航空支援集団 人員約120名

F-35A×6機(調整中)、E-2D×1機、C-130H又はC-2輸送機(人員、器材の展開・撤収時のみ)

米 軍:基地所在部隊等(細部人数調整中)

F-35B×12機、F/A-18×6機(調整中)

※29日及び30日に夜間飛行を計画しています。

訓練イメージ



岩国航空基地



EP-3、OP-3(基準)
海自岩国航空基地所属



F-35A×6(基準)
空自三沢基地(展開)



E-2D×1(基準)
空自三沢基地(展開)



F-35B×12(基準)
米軍



F/A-18×6(基準)
米軍



C-130H又はC-2
輸送機

※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

日程(案)

※計画中であり、細部は関係各所と調整させていただきます。

日時	機種
15日(火) ～22日(火)	展開 ・F-35A、E-2D(三沢基地から) ・人員器材(C-130H又はC-2)
23日(水) ～1日(金)	・統合防空ミサイル防衛 ・統合対艦攻撃訓練
1日(金) ～8日(金)	撤収 ・F-35A、E-2D(三沢基地から) ・人員器材(C-130H又はC-2)

山口県内で実施を計画している訓練内容

⑤海上作戦(統合対艦攻撃訓練)

岩国航空基地から、海上自衛隊の航空機(EP-3、OP-3、UP-3D、US-2、MCH-101)が四国沖及び沖縄東方海域で実施される統合対艦攻撃訓練に参加し、対処・連携要領を演練します。その際、土日・夜間の飛行を伴う飛行を実施する予定です。

【期 間】 令和6年10月23日(水)～11月1日(金) ※土日・夜間の飛行を実施予定

【参加部隊】 海上自衛隊：基地所在部隊等(細部人数調整中)

EP-3、OP-3、UP-3D、US-2、MCH-101(調整中)



EP-3



OP-3



UP-3D



US-2



MCH-101

訓練予定場所

四国沖

沖縄東方